

レジメン名

IRIS

出典 Lancet Oncol 2010;11:853-60.
 カンプト適正使用ガイド 2013年5月作成

実施部署区分

<input checked="" type="checkbox"/> 入院	<input type="checkbox"/> 外来	<input type="checkbox"/> 処置
--	-----------------------------	-----------------------------

対象疾患

大腸がん
<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 補助療法(術前・術後) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2nd line以降で使用

投与減量の基準

WBC	2000/mm ³ 未満		
その他	上記基準または下痢が認められた場合、回復を確認後、次回投与時20-25%減量にて再開。		

投与中止の基準

WBC	3000/mm ³ 未満	PLT	7.5万/mm ³ 未満※
AST,ALT	100IU/L以上	T-bil	1.5mg/dL以上
Cr	1.2mg/dL以上		
その他	WBCが12000/mm ³ 以上のときも投与中止が推奨される。 ※適正使用ガイドでは10万/mm ³ だが、制限が厳しいためGrade2の血液毒性として上記の値で登録		

1クール期間 28日

総クール数 PDまで

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
イリノテカン	125mg/m ²	輸液250mL	90分	d1, 15
ティーエスワン	80mg/m ² ※	朝、夕食後		d1-14
	※体表面積ごとで初回基準量を決める 1.25m ² 未満:40mg/回 1.25m ² 以上~1.5m ² 未満:50mg/回 1.5m ² 以上:60mg/回			

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ホスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1, 15 ①グラニセトロン3mg/バッグ+デキサート 6.6mg(15-30min) ②イリノテカン125mg/m ² +輸液250mL (90min) ③生食50mL(フラッシュ用)
day1ター-15朝 ①TS-1 80mg/m ² 分2 朝夕食後
<内服> day1から4日間 ウルソデオキシコール酸(100)3錠 3×毎食後 炭酸水素ナトリウム 1.8g 3×毎食後 (遅発性下痢の予防目的)
day2-3 デカドロン(4mg)1錠 1×朝食後